

生まれてくる赤ちゃんのために・・・



寝屋川市長 馬場 好弘

この度はご懐妊おめでとうございます。

寝屋川市では全ての市民が健やかで生き生きと過ごせる街づくりを目指しております。

そのためにも子供たちが安心して暮らせる街づくりが欠かせません。

近年、アトピー性皮膚炎などの病気が増えており、子供たちの安心を脅かす大きな要因となっております。その上、民間療法などの情報があふれており何を信じていいのかわからない状況にあります。

そこで本市は、アレルギーなどの病気の原因を調べる寝屋川母子保健コホート研究を後援することとなりました。寝屋川市民である妊婦さんに調査へのご協力をぜひともお願いしたいと存じます。みなさんとっしょにこのような病気に立ち向かいましょう。

この度はご懐妊大変喜ばしいことと存じます。

最近の国際的な調査では、日本の小学1年生におけるアトピー性皮膚炎の有病率が17%とスウェーデンに次いで世界で2番目に多い国であることがわかりました。これはとても心配すべきことです。発病の原因についてはまだ解明されておられません。

このような状況において、病気の原因を追及する調査は非常に重要であり、寝屋川市においてこのような調査を実施することはとても意義深いことでもあります。

是非とも今回の調査にご参加されますことをお勧めいたします。この調査を機会にあなたご自身の生活環境・健康状況を把握し、子育てにご活用下さい。



寝屋川市医師会 会長 宮崎 昌之

母子保健に関する調査について（お知らせ）

地域の母子保健向上のため、大阪府立公衆衛生研究所及び大阪市立大学医学部公衆衛生学教室が寝屋川市において、専門調査を実施することとなりました。

この調査に参加すると、以下の検査を**無料**で受けることができます。

（また、すべての調査にご協力いただければ薄謝進呈いたします。）

- 1) アトピーやぜんそくと関連しているといわれている、家庭内のダニやホルムアルデヒドなどの測定
（簡単な器具で試料を採取し、それを送付すれば**測定結果**をお知らせします）
- 2) 妊娠中特に気を付けなければならない、妊婦の食事状況に関する栄養診断
（アンケートに答えて、それを送付して頂ければ**栄養診断結果**をお知らせします）
- 3) アレルギーのときに高くなることがある血液中の総IgE値の測定
（妊娠中におこなわれる一般的な血液検査と一緒に測定し**総IgE値**をお知らせします）



母子健康手帳交付時に調査の詳しい説明をしてもよいかどうかをお尋ねいたします。

お問合せ

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 大阪市立大学医学部公衆衛生学教室内

寝屋川母子保健コホート研究事務局 TEL06-6645-3756 FAX06-6646-6583

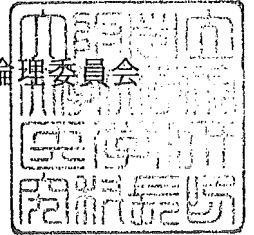
審査結果通知書

平成 13 年 10 月 11 日

申請者
所属・職 公衆衛生学教授
氏 名 廣田 良夫 殿

大阪市立大学医学部倫理委員会

委員長 圓藤 吟史



平成 13 年 9 月 18 日付けで申請のあった 実施計画・公表計画 について
平成 13 年 9 月 27 日の委員会で審査の結果、下記のとおり判定したので通知
します。

なお、この判定に異義がある場合には、この通知書が交付された日の翌日から
起算して 30 日以内に、当委員会に再審査を申し立てができるので、念のため申
し添えます。

記

受付番号	240
課題名	寝屋川母子保健コホート研究：住宅内空気汚染等 とアレルギー疾患との関連に関する疫学的研究
判定	承認 条件付承認 修正承認 変更勧告 不承認 非該当
条件又は理由	

【調査の概要】寝屋川市在住の妊婦 1,500 人を 5 年間追跡し、母親の妊娠中や出産後の生活環境要因、および出生後の児の生活環境要因が、乳幼児期アレルギー疾患の発症とどのように関連するかを検討する。

1. コホート設定

寝屋川市在住で、妊娠が確定した女子 1,500 人

【母子健康手帳申請時、または産婦人科医院で妊娠確定時に協力を要請してエントリー】

2. 要因調査

1) 母親側要因

- ① 生活習慣（食事、喫煙、飲酒、運動、家族歴、職歴、家屋、ペット、湿度、暖房、SES、抜歯、薬剤服用歴、など）、およびストレス・パーソナリティ 【自記式質問票使用】
- ② 屋内のホルムアルデヒド、二酸化窒素、およびダニ抗原測定 【前二者についてはパッシブチューブ、後者については測定用ゴミ取り袋使用。対象者自身が検体採取】
- ③ 血清 IgE 測定 【妊娠 4 カ月までに、産婦人科医院でのルーチン検査時に併せて測定】

2) 児側要因 【健康診査（4M、1.6Y、3.6Y）に併せて情報収集】

- ① 児の部屋および寝具のダニ抗原測定 【測定用ゴミ取り袋使用（4M）】
- ② 母乳／人工乳、離乳食、受動喫煙 【自記式質問票使用（4M、1.6Y）】
- ③ 屋内の（準）揮発性有機化合物濃度測定 【家庭訪問して検体採取（4M、1.6Y）】
- ④ 感染症等の既往、ワクチン接種、抗生物質等の使用 【自記式質問票使用（1.6Y、3.6Y）】
- ⑤ 食習慣 【自記式質問票使用（3.6Y）】

3. 結果指標調査 【健康診査（4M、1.6Y、3.6Y）に併せて情報収集】

- ① アトピー性皮膚炎 【ISAAC (International Study of Asthma and Allergy in Children) および UK Working Group による疫学調査診断基準。前面および背面 2 方向デジカメ撮影による中央診断（4M、1.6Y、3.6Y）】
- ② 気管支喘息、アレルギー性鼻炎 【1.6Y、3.6Y】
- ③ その他
 - ・妊娠中毒症、産後鬱病、出生時状況（身長・体重、頭囲、アプガースコア）【4M】
 - ・歯科衛生状況、幼児肥満 【3.6Y】

4. 解析

コホート研究およびコホート内症例・対照研究により、上記の要因とアトピー性皮膚炎、気管支喘息などとの関連を検討。ロジスティックモデル、コックス・ハザードモデル、ポアソン・リグレッションモデルにより、補正相対危険を求める。